報道発表資料

東京消防庁　Tokyo Fire Department

令和元年９月３日

救急医療週間の実施について

― ９月９日は「救急の日」 ―

救急医療週間は、救急医療と救急業務に対する都民の皆様の正しい理解と認識を深め、かつ、救急医療関係者の意識の高揚を図ることを目的に、毎年９月９日の救急の日を含む日曜日から土曜日までの１週間に行われています。

東京消防庁では本年も「救急の日」及び「救急医療週間」を中心に、令和元年度東京消防庁救急セミナーをはじめとする行事を下記の推進事項のもとに実施いたします。

１　救急の日及び救急医療週間

⑴　救急の日・・・・令和元年９月９日（月）

⑵　救急医療週間・・令和元年９月８日（日）から９月１４日（土）まで

２　「令和元度東京消防庁救急セミナー」及び「第６回地域の応急手当普及功労賞表彰式」の実施について

救命講習の受講促進と応急手当奨励制度の周知を図るため、著名人をお招きし救急セミナー及び地域の応急手当普及功労賞表彰式を実施します。（資料１）

⑴　日時

令和元年９月９日（月）　午後１時３０分から午後４時３０分まで

⑵　場所

スクワール麹町

（千代田区麹町六丁目６番）

３　救急医療週間中の各消防署の主な行事

各消防署の行事については、東京消防庁公式アプリでご確認ください。

４　推進事項

⑴　東京消防庁救急相談センター及び東京版救急受診ガイドの周知及び利用促進

東京消防庁では急な病気やけがで救急車を呼ぶか判断に迷った際に、電話で相談できる「救急相談センター（＃７１１９）」と、緊急性を自己判断できる「東京版救急受診ガイド」により、都民の皆様に安心を提供しています。

今年で開設１２年を迎えた東京消防庁救急相談センター（＃７１１９）の更なる利用促進に向けて、広報活動を集中的かつ強力に推進していきます。（資料２）

⑵　応急手当の普及促進

バイスタンダーの応急手当は、救命効果の向上に大きく関わっています。普段から応急手当の方法を覚えていただき、誰もが自信を持って応急手当を実施できる社会を

目標に、更なる応急手当の普及促進を図ります。（資料３）

⑶　救急車の適正利用の促進

救急車の到着が遅れると、救える命が救えなくなる可能性があります。真に緊急を要する方のために、救急車の適正利用を呼びかけます。（資料４）

問合せ先

東京消防庁㈹	電話　３２１２－２１１１
救急医務課救急相談係	内線　４５４５～４５４６
救急指導課救急普及係	内線　４６２５～４６２６
広報課報道係	内線　２３４５～２３５０

資料１

「令和元年度東京消防庁救急セミナー」及び「第６回地域の応急手当普及功労賞表彰式」の実施について

東京消防庁では、９月９日（月）にスクワール麹町において東京消防庁救急セミナーを実施します。また、あわせて第６回地域の応急手当普及功労賞表彰式を行います。

１　令和元年度東京消防庁救急セミナー

⑴　日時

令和元年９月９日（月）　１３時３０分から１６時３０分まで

⑵　場所

スクワール麹町

（千代田区麹町六丁目６番）

⑶　参加対象者

都内在住、在勤、在学の方　約２００名

⑷　プログラム

	時間・プログラム	内容	場所
第１部	【１３時３０分 ～１３時５０分】 第６回 地域の応急手当普及 功労賞表彰式	最優秀賞（消防総監賞） 国際自動車株式会社 日本ホテル（株）ホテルメトロポリタン 府中市役所	３階錦華
第２部	【１３時５０分 ～１４時２０分】 救急トークショー	ゲストを招き、救急に関わるクイズを交えながらトークショーを行い、参加者に「東京の救急業務」について理解を深めていただきます。 【ゲスト】 **元ショートトラックスピードスケート** **日本代表　勅使河原（てしがわら）　郁恵（いくえ）　氏**	３階錦華
	【１４時２０分 ～１４時３０分】 記念撮影・**囲み取材**	別会場へ移動し、ゲストが記念撮影を実施した後、**囲み取材を実施**します。	４階 Ｃ－１
第３部	【１４時３０分 ～１６時３０分】 救命技能講習	応急手当普及員再講習をおこないます。	３階錦華 ４階 Ｃ－２・３

２　地域の応急手当普及功労賞表彰式

この賞は、地域における応急救護体制づくりに主体的に取組んでいる応急手当奨励事業所等を各消防署から募集し、効果的かつ模範的な取組みを表彰するものです。なお、受賞団体の取組みは、奏功事例として広く紹介し、地域の応急救護体制づくりの一層の充実を図ることを目的としています。

【国際自動車株式会社の最優秀賞受賞理由】

国際自動車株式会社は、平成１７年９月に応急手当奨励事業所に認定され、現在に至るまで１３年間の長期に渡り「救命講習受講優良証」の交付を受けています。

総従業員数４，７８７名のうち、全ての乗務員（３，１３８名）が救命講習受講者であり、８つの営業所全てに救命講習受講者とＡＥＤが配置されています。

救命技能の認定を受けている運転手等が乗務する「サポートＣａｂ」や「マタニティーマイタクシー（陣痛タクシー）を運行し、救命講習以外にも定期的に訓練教育を年１５回以上行っており、当庁と震災等大規模災害時における傷病者の搬送業務に関する協定を締結しているなど、地域の救護体制にも貢献しています。

【日本ホテル（株）ホテルメトロポリタンの最優秀賞受賞理由】

日本ホテル（株）ホテルメトロポリタンは、全従業員の約９割が救命講習受講者であり、平成２３年９月に「救命講習受講優良証」の交付を受けています。平成３０年度には委嘱状の交付を受け、事業所の応急手当普及員による救命講習を「自主開催」し、意欲的に講習受講を促進しており、施設には、主要な階層及びテナントにＡＥＤを設置して傷病者発生時の救護計画を整備するなど、利用客が安心してホテルを利用できるよう応急救護体制の構築を図っています。

昭和６０年の開業時から救急要請時の対応訓練を継続して実施しており、外国人利用客の対応は通訳可能なホテル従業員が積極的に救急活動への協力をしています。

【府中市役所の最優秀賞受賞理由】

府中市役所は、平成１７年９月に「救命講習受講優良証」の交付を受け、現在職員の６割以上が上級救命講習を受講しています。市は、市民が受講する救命講習の教材費を全額負担して救命講習の受講を促進しており、平成３０年度中には、２，５０８名の市民が、市から教材費の負担を受けて救命講習を受講しました。

また、市立中学校全１１校の生徒の普通救命講習（命の尊さ講座）の実施や、市役所以外の幅広い分野の市職員にも救命講習の受講を奨励しており、市を挙げて地域の自主救護力向上に努めています。市関連施設１３９か所に配置したＡＥＤの活用や救命講習を受講したバイスタンダーによる活躍がなされています。

３　取材について

⑴　取材を希望される方は、<u>１３時００分までにスクワール麹町４階Ｃ－１</u>にお越しください。

⑵　取材を希望される場合は、<u>令和元年９月６日（金）１３時００分まで</u>に広報課報道係（代表電話：０３－３２１２－２１１１）までご連絡ください。

⑶　取材時は、必ず自社腕章を着用してください。

⑷　会場には駐車場がありませんので、予めご了承ください。

資料2

東京消防庁救急相談センター及び東京版救急受診ガイドの周知及び利用促進

「＃７１１９」東京消防庁救急相談センター（以下「救急相談センター」という。）は、平成１９年６月から運用を開始し、令和元年７月まで約４１１万件の電話を受付け、約１３４万件の救急相談※1及び約２７３万件の医療機関案内※2により、急な病気やけがで判断に迷う都民の皆様に安心を提供しています。

また、電話以外の相談手段として、平成２４年４月から症状の緊急度を自身で判断できる東京版救急受診ガイド（以下「救急受診ガイド」という。）をウェブ・冊子により提供を開始し、電話相談と併せて、都民の皆様に御利用いただいております。（別紙１）

今後、救急相談センター及び救急受診ガイドの更なる利用促進を図るため、あらゆる機会を通じた広報活動を強力に推進していきます。

平成３０年中の救急相談センターの受付状況等については別紙２、救急医療週間前後の主な救急相談センター広報行事予定は別紙３、広報用ポスターは別紙４のとおりです。

※１ 救急相談・・・・相談者の症状により、救急車で医療機関へ行くべきか、自分でいつ頃までに受診すべきかの緊急度のアドバイスを行っています。

※２ 医療機関案内・・各医療機関からの最新の診察情報をもとに、最寄りの診察可能な医療機関を案内しています。

別紙１

≪病院へ行く？ 救急車を呼ぶ？ 迷ったら…「＃７１１９」≫

知 ろ う　使 お う　＃ ７ １ １ ９

（作者　古川　康平さん　府中市在勤）

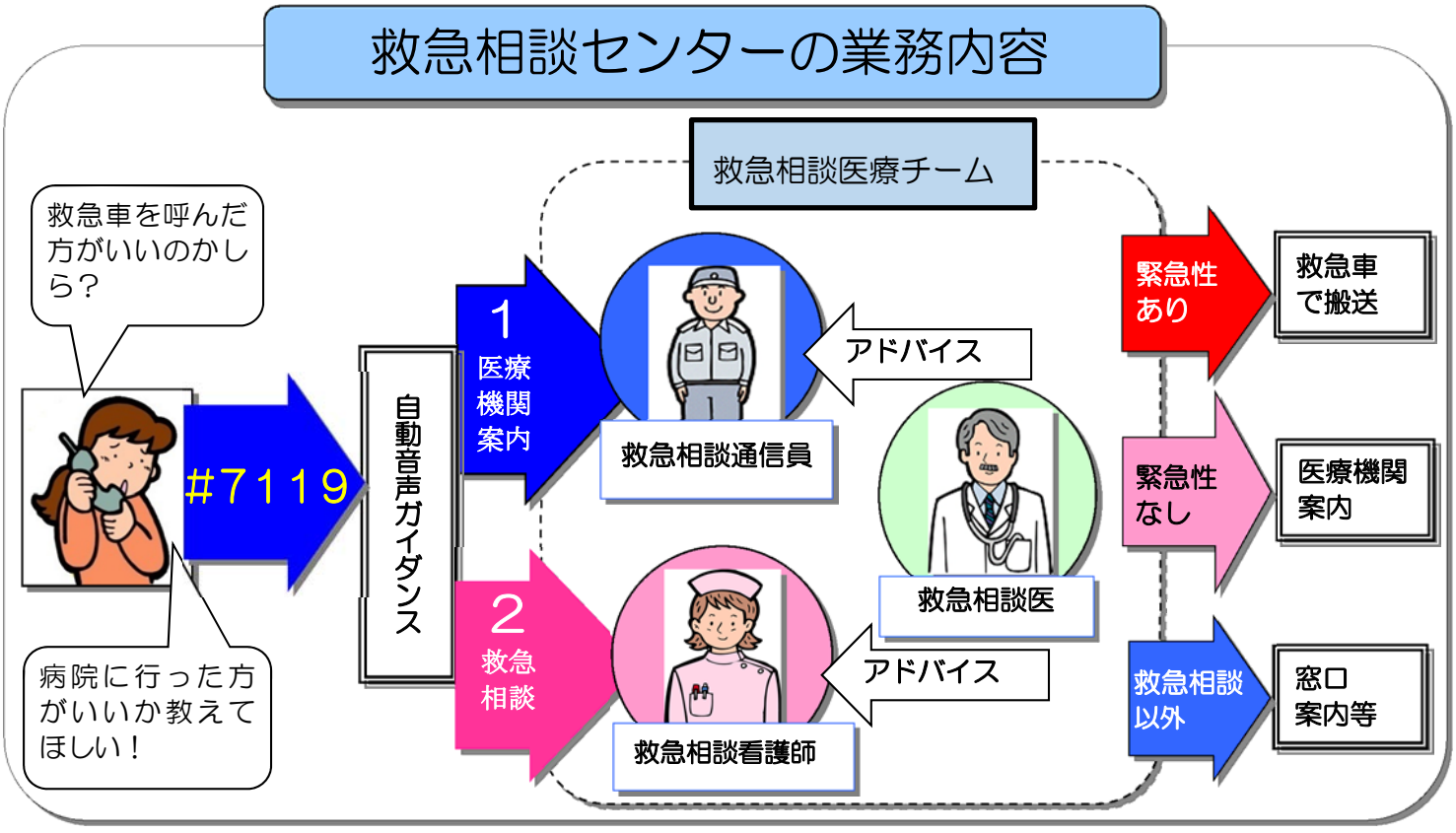
(1)　「＃７１１９」東京消防庁救急相談センター

急な病気やけがで「今すぐ病院に行ったほうがいいのかな？」、「救急車を呼んだほうがいいのかな？」など迷った際の相談窓口として、東京消防庁救急相談センターを開設しています。

東京消防庁救急相談センターでは、これらの相談に、救急相談医療チーム（医師、看護師、救急隊経験者等の職員）が、２４時間・年中無休で対応しています。

受付番号＃７１１９は携帯電話、ＰＨＳ、プッシュ回線からご利用いただけます。

その他の電話、または繋がらない場合、２３区は０３（３２１２）２３２３、多摩地区は０４２（５２１）２３２３からご利用ください。



⑵　東京版 救急受診ガイドについて

冊子版

東京消防庁救急相談センターでの電話による救急相談に加え、**東京版救急受診ガイド（ウェブ版・冊子版）**を提供しております。

これは、主な１９の症状について、利用者の方自らが症状をチェックしていくことで、病気やけがの緊急度などに関するアドバイスが得られるサービスです。冊子版の他にいつでも利用できるように、下記のＱＲコードを携帯電話またはスマートフォンで読み取り、アドレスを登録しましょう。

ウェブ版の利用方法・サービス内容

携帯電話・スマートフォンやパソコンから東京消防庁ホームページにアクセスして『東京版救急受診ガイド』をご利用ください。

＜３つのアドバイスを提供＞
- ●けがや病気の緊急性
- ●受診する時期
- ●受診する科目

※リンクから受診可能な病院検索もできます。

病気やけがの緊急性などは、冊子版もウェブ版もチェックした質問によりアドバイスを確認できます。

緊急度 高 → 低

赤	救急車を要請（今すぐ１１９番へ）
橙	今すぐに受診（１時間以内に病院へ）
黄	これから受診（６～８時間以内に病院へ）
緑	明日には受診（２４時間以内に病院へ）

スマートフォンはこちらから

携帯電話はこちらから

※緊急性があると思われる場合は、ためらわず救急車（１１９番）をお呼びください。

⑶　東京版 救急受診ガイド（英語・ウェブ版）について

東京消防庁は、平成 30 年３月より、都内で外国の方が急な病気やけがをした際に、安全・安心を提供するツールとして、自身で症状の緊急性を判断できる**東京版救急受診ガイド（英語・ウェブ版）**を当庁ホームページで提供しています。

東京版救急受診ガイド（ウェブ版）と同様に、主な１９の症状について、利用者の方自らが質問に答えることで、ご自身の症状の緊急性や受診科目、受診する時期などを確認できます。

東京版救急受診ガイド（英語・ウェブ版）パソコン・スマートフォン用ＵＲＬ

http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-kyuuimuka/en_guide/main/index.html

別紙２

東京消防庁救急相談センター運用開始からの受付状況等

期間	総受付	医療機関案内	救急相談	救急要請	中等症以上
平成19年中 （平成19年6月1日～12月31日）	155,885	139,685	14,422	1,849	545
	728/日	653/日	67/日	9/日	3/日
平成20年中	279,084	238,531	34,208	4,443	1,358
	763/日	652/日	94/日	12/日	4/日
平成21年中	313,908	251,599	52,940	6,251	2,179
	860/日	689/日	145/日	17/日	6/日
平成22年中	292,882	219,459	66,749	8,145	3,058
	802/日	601/日	183/日	22/日	8/日
平成23年中	312,390	230,231	79,338	11,103	4,162
	856/日	631/日	217/日	30/日	11/日
平成24年中	321,355	238,257	82,075	10,989	4,084
	878/日	651/日	224/日	30/日	11/日
平成25年中	314,737	224,511	89,617	13,388	4,894
	862/日	615/日	246/日	37/日	13/日
平成26年中	330,865	226,123	103,688	18,043	6,135
	907/日	620/日	284/日	49/日	17/日
平成27年中	375,458	224,844	145,554	25,576	8,095
	1029/日	616/日	399/日	70/日	22/日
平成28年中	378,776	225,879	152,145	28,269	8,555
	1035/日	617/日	416/日	77/日	23/日
平成29年中	369,018	195,707	172,551	29,838	9,734
	1011/日	536/日	473/日	82/日	27/日
平成30年中	398,877	196,012	201,943	30,003	10,106
	1093/日	537/日	553/日	82/日	28/日
累計	3,843,235	2,610,838	1,195,230	187,897	62,905
	994/日	675/日	309/日	49/日	16/日

主な救急相談の内容　（平成30年中）

No.	内訳	件　数
1	発熱（小児）	14,800件
2	腹痛	12,229件
3	頭部外傷（小児）	10,631件
4	四肢・顔面外傷	9,095件
5	発熱	8,569件
6	めまい・ふらつき	7,116件
7	頭痛	6,724件
8	胸痛	5,420件
9	嘔気・吐き気（小児）	5,192件
10	嘔気・吐き気	4,644件

別紙３

救急医療週間前後の主な「東京消防庁救急相談センター」及び「東京版救急受診ガイド」広報行事予定

実施日		実施時間	行事名	会場名	実施場所	主な内容	参加予想人員	担当所属	主催
9月6日	金	１２時００分から １３時００分まで	金曜コンサート	日比谷公園 小音楽堂	千代田区日比谷1-6	「＃７１１９」東京消防庁救急相談センター及び東京版救急受診ガイドの広報	1,000	総務課 音楽隊	東京消防庁
9月8日	日	１１時００分から １７時００分まで	救急の日２０１９	アクアシティお台場 ３階「アクアアリーナ」	港区台場1-7		1,000	救急指導課	厚生労働省
9月9日	月	１３時３０分から １６時３０分まで	令和元年度 東京消防庁救急セミナー	スクワール麹町	千代田区麹町6-6		200	救急指導課	東京消防庁
9月19日	木	１３時３０分から １６時００分まで	令和元年度 「救急の日」	新宿ＮＳビル３０階 スカイカンファレンス ホールＡ・Ｂ	新宿区西新宿2-4-1	・「＃７１１９」東京消防庁救急相談センター及び東京版救急受診ガイドのプロモーションビデオ放映 ・東京版救急受診ガイドのパソコン体験	300	救急医務課	東京都

※　その他各消防署においても救急医療週間に伴い、東京消防庁救急相談センター及び東京版救急受診ガイドの広報行事を予定しています。

別紙４

イタタ…

病院へ行く？ 救急車を呼ぶ？ 迷ったら…

東京消防庁救急相談センター

#7119

こちらからもつながります　２３区 03-3212-2323　多摩地区 042-521-2323

知ろう 使おう #7119

作者 古川 康平さん 府中市在勤

電話でも！　ネットでも！

電話で相談
東京消防庁救急相談センター

<救急相談センターの主なサービス>
- 症状に基づく緊急性の有無のアドバイス
- 受診の必要性に関するアドバイス
- 医療機関案内

■救急相談として受けられない内容<健康相談／医薬品に関すること等>

ネットでガイド
東京版救急受診ガイド

病気やけがをした際に自ら緊急性の判断ができます。

スマートフォン用　携帯電話用

激しい頭痛や呼吸困難などの症状がみられたら、ためらわず119番を！

東京消防庁　東京都医師会　東京都福祉保健局

東京消防　検索
http://www.tfd.metro.tokyo.jp
東京消防庁公式アプリ配信中!!

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。
2120-310707

資料3

応急手当の普及促進

バイスタンダーが除細動（電気ショック）を実施した時の心拍再開割合は６割※1を超え、今後も応急手当の普及と自動体外式除細動器（ＡＥＤ）の活用により救命効果の向上が期待されます。

このことから、東京消防庁では都内在住、在勤、在学の方々に対してＡＥＤの使用を含む応急手当講習（救命講習）を推進し、近年は毎年新たに約２０万人の方が受講し応急手当知識の普及は順調に進んでいます（別図１）。

この成果によって不特定多数の方が集まる場所（事業所等）での平成３０年中の応急手当実施率※2は７１．７％と、多くの方の救護の手が差し伸べられる環境が整った反面、全心停止事案の応急手当実施率は４６．６％にとどまっている状況です。

これは、全心停止事案の発生場所の約７割を占めている住宅での応急手当実施率が３２．７％と低い状況であることが要因となっています（別図２）。

これらを踏まえ、地域全体での応急救護体制づくりが図られるよう、応急手当奨励制度（別紙５）の推進や、学校教育における救命講習等の受講促進、口頭指導※3の適切な実施と都民への周知、庁を挙げた普及啓発広報など、応急手当の普及促進に取組んでいます。

※１　市民目撃のあった心停止の場合
※２　市民目撃のあった心停止傷病者に対する応急手当（胸骨圧迫・人工呼吸・ＡＥＤによる除細動）の実施割合
※３　１１９番通報後の電話による救急隊等からの応急手当に関するアドバイス

また、平成３０年中のバイスタンダーによる応急手当の効果等については別図３～５のとおりです。

なお、応急手当普及啓発用ポスターは別紙６のとおりです。

１　別図３の解説

心停止の市民目撃があった傷病者に対する応急手当（胸骨圧迫・人工呼吸・ＡＥＤによる除細動）の実施状況等は、図１、表１のとおりです。

都民等により胸骨圧迫等の応急手当が行われていたのは２，１７４人（４６．６％）でした。このうち救急隊が医療機関に傷病者を収容するまでに脈が回復した傷病者は５６２人（２５．９％）、１ヶ月生存者数は３２８人（１５．１％）と、応急手当がなかった場合と大きな差がでています。

２　別図４の解説

平成３０年中に、都民等がＡＥＤを使用し除細動を実施した人数は２５５人で、そ

の内の１６０人（６２．７％）が病院到着前に心拍の回復が認められました。年々都民による除細動実施件数が増加しています。

３　別図５の解説

心停止した傷病者を救命するためには、「心停止の予防」「心停止の早期認識と通報」「早い心肺蘇生とＡＥＤ」「救急隊や病院での処置」の４つが連続して行われることが必要です。この４つのうちどれか一つでも途切れてしまえば、救命効果は低下します。

右側の救命曲線は、心停止における「経過時間」と「命が助かる可能性」を示したものです。時間の経過で救命のチャンスは低下しますが、応急手当により救命のチャンスを高めることができます。

平成３０年中の東京消防庁管轄区域内の救急出場件数は、８１８，１００件で、３９秒に１回の割合で出場しています。また、救急車が現場に到着するまでに、平均で７分０２秒かかっています。一人の尊い命を救うためには、現場から医療機関までに多くの人の力が一つにつながることが必要ですが、とりわけ、バイスタンダーにより、救急隊が到着するまでに行われる応急手当がいかに重要かを示しています。

別紙５

応急手当奨励制度について

● 応急手当奨励制度の目的

急な病気やけがなどの救急事故現場に居合わせた人々（バイスタンダー）が、救急車到着までの間に応急手当を実施することは大変重要です。特に、さまざまな人が多く集まる事業所や商店街、町会等において、応急救護体制の推進が期待されています。

そこで東京消防庁では、救命効果を高めるための方策の一つとして、応急手当普及に対する認識を高めてもらい、事業所や商店街、町会等が自らが応急救護体制づくりができるよう、救命講習に対する積極的な取り組みを奨励しています。

● 救命講習受講優良証

応急手当の普及に関し、下記の交付要件を満たしている事業所等に対して、消防署長が救命講習受講優良証、優良マークを交付します。

交付要件

① 事業所や商店街、地域等で、救命講習の普及を推進する人（応急手当普及員など）が養成され、救命講習の普及に活用されていること。

② 交付対象毎に、総数（従業員数等）の３０％以上が、有効期限内にある救命講習修了者であること。

優良証交付事業所等の公表及び優良マークの交付

救命講習受講優良証

優良マーク

【優良マークの活用】

・掲示は事業所の任意とします。

・直径200㎜以内の加工が可能です。

※形態や色の加工はできません。

【加工例】

名刺

バッジ

平成３１年１月１日現在、1,４９１の事業所等に対して交付しています。
おもな事業所等は下表のとおりです。

事業所	駅舎、バス・タクシー会社
商店街	デパート、スーパーマーケット
町会、自治会	公衆浴場、酒販・理容組合
旅館、ホテル	郵便局
ガソリンスタンド	学校、幼稚園、保育園
劇場、映画館	ゴルフ場、スポーツクラブ
銀行、信用金庫	区・市役所　など

応急手当奨励制度に関することや交付手続きなど、ご不明な点がありましたら東京消防庁管内の各消防署へお問合せください。

別紙６

まず行動 救える命 あなたから

［令和元年・2年度東京消防庁救急標語 作者 岡本 純一さん（府中市在勤）］

応急手当奨励制度 事業所や商店街、地域等において、救命講習に対する安全安心な取り組みを奨励する制度です。詳しくは、東京消防庁ホームページをご覧ください。

東京消防庁

東京消防 検索
http://www.tfd.metro.tokyo.jp
東京消防庁公式アプリ配信中!!

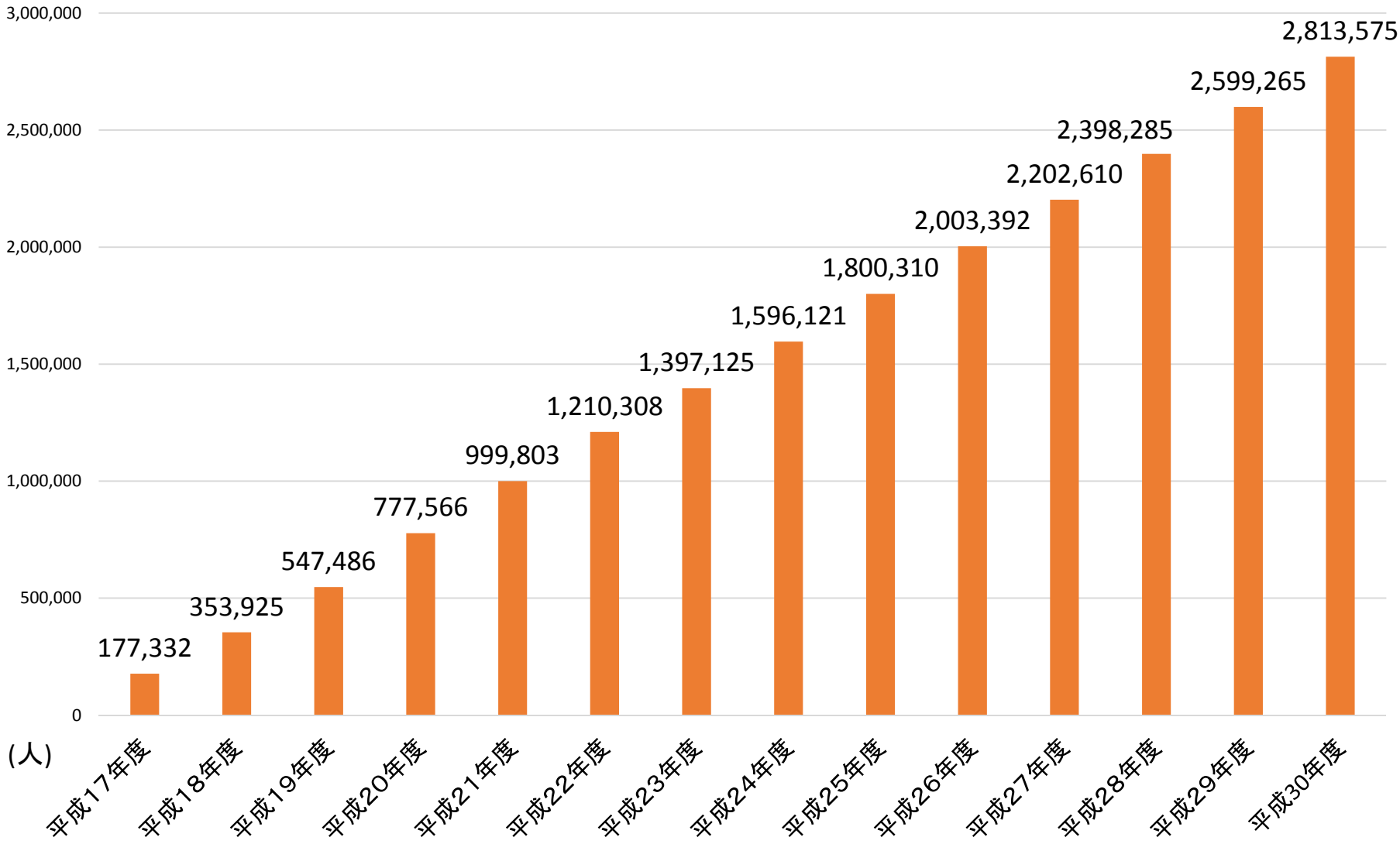
TOKYO 2020 TOKYO 2020 PARALYMPIC GAMES 東京都

リサイクル適性Ⓐ この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

2130-3108-06

別図１

救命講習受講者数の推移

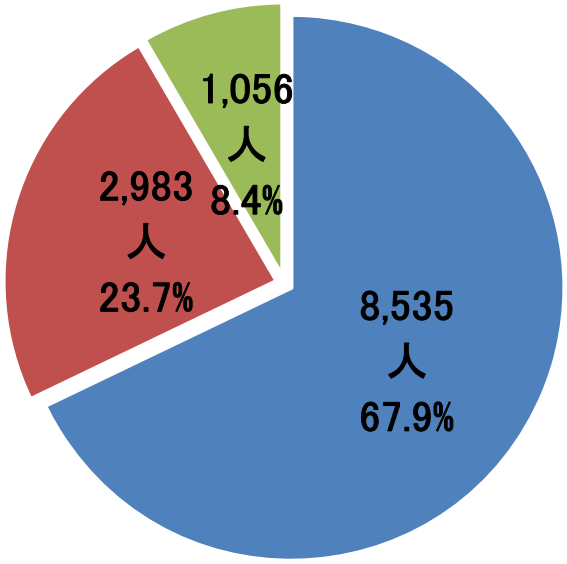


別図2

心停止傷病者発生場所別の応急手当実施状況等（平成30年中：東京消防庁）

発生場所	平成30年中			
	搬送人員	心停止目撃（市民目撃）	応急手当 ※胸骨圧迫・人工呼吸・除細動	実施率（c/b）
	a	b	c	
住宅	8,535人	2,715人	888 人	32.7%
事業所等	2,983人	1,472人	1,056人	71.7%
その他の場所	1,056人	483 人	230 人	47.6%
総計	12,574人	4,670人	2,174人	46.6%

発生場所別の心停止発生割合



発生場所	平成30年中			
	搬送人員	心停止目撃（市民目撃）	応急手当 ※胸骨圧迫・人工呼吸・除細動	実施率（c/b）
	a	b	c	
住宅（専用・共同・寮・寄宿舎）	8,535	2,715	888	32.7%
自助施設・グループホーム等	210	101	73	72.3%
特別養護老人ホーム	595	249	197	79.1%
老人施設（特養以外）	913	349	247	70.8%
ホテル・旅館・簡易宿泊所	86	34	14	41.2%
会社・オフィス	134	76	51	67.1%
工場・製造所・作業場	60	27	18	66.7%
その他仕事場業態の場所	8	2	2	100.0%
販売・サービス業施設	276	189	99	52.4%
娯楽・遊戯施設	64	31	21	67.7%
健康・保養・美容施設	58	24	16	66.7%
病院	101	55	52	94.5%
診療所・クリニック・医院	86	69	62	89.9%
助産所・鍼灸院・接骨院等	5	4	4	100.0%
育児児童施設・学校	38	27	27	100.0%
芸術・文化施設	21	16	12	75.0%
運動施設	51	38	34	89.5%
宗教施設・斎場等	23	12	10	83.3%
官公庁・行政施設	38	18	13	72.2%
線路・軌道敷	28	21	5	23.8%
駅	170	116	90	77.6%
空港	15	11	9	81.8%
港	3	3	0	0.0%
公園・遊園地等	65	20	9	45.0%
駐車場・駐輪施設	61	20	7	35.0%
一般道路（公道・私道・施設内道路）	783	404	199	49.3%
高速道路・自動車専用道路	17	8	1	12.5%
農地（田・畑）	2	1	1	100.0%
山林	8	4	3	75.0%
河川・水路	76	12	5	41.7%
湖沼等	1	0	0	0.0%
海	5	1	0	0.0%
その他自然環境・土地	7	1	0	0.0%
建築・工事現場	30	12	5	41.7%
その他	1	0	0	0.0%
総計	12,574	4,670	2,174	46.6%

別図3

心停止の市民目撃のあった傷病者に対する応急手当実施状況等（平成30年中）

図1　バイスタンダーによる応急手当実施状況

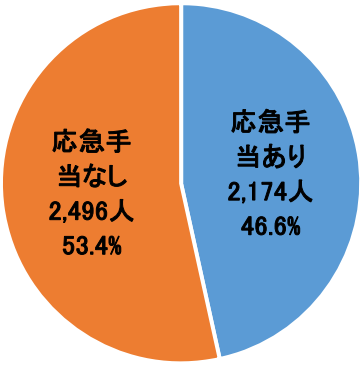


表1　病院収容前心拍再開・1ヶ月生存状況

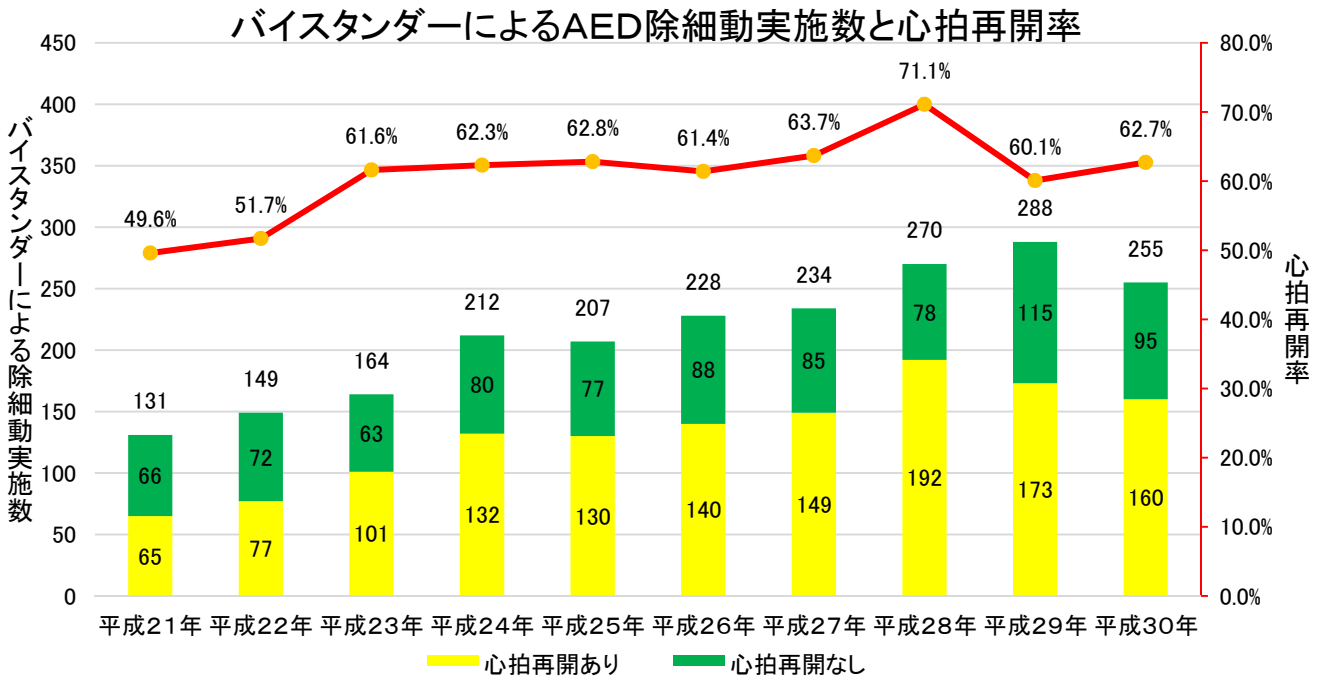
	搬送人員（人）	心拍再開数（人）	心拍再開率	1か月生存数（人）	1か月生存率
応急手当あり	2174	562	25.9%	328	15.1%
応急手当なし	2496	312	12.5%	122	4.9%
合計	4670	874	18.7%	450	9.6%

13.4ポイント

3.1倍

別図4

目撃のある傷病者に対するバイスタンダーによるAEDの救命効果（平成30年中）



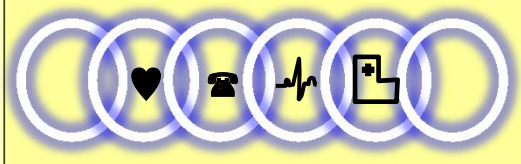
病院に搬送されるまでに自己心拍が回復しなかった傷病者数

病院に搬送されるまでに自己心拍が回復した傷病者数

別図5

救命の連鎖（チェーン･オブ･サバイバル）の重要性

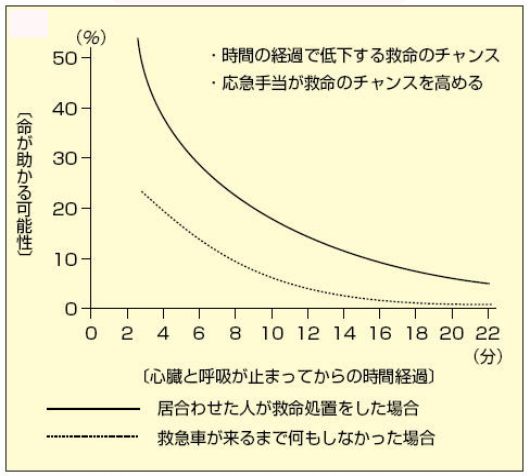
「救命の連鎖」
(Chain of Survival)



大切な命を救うために必要な行動を、迅速に
途切れることなく行う重要性を表しています。

- 心停止の予防
- 心停止の早期認識と通報
- 早い心肺蘇生とAED
- 救急隊や病院での処置

救命曲線



Holmberg M et al. Effect of bystander cardiopulmonary resuscitation in out-of-hospital cardiac arrest patients in Sweden. Resuscitation 47:59-70, 2000. より、一部改変して引用

資料4

救急車の適正利用の促進

東京消防庁が実施している消防に関する世論調査の結果では、救急車を要請した理由として、「生命の危険があると思った」など緊急性がある理由が多い反面、「交通手段がなかった」など緊急ではない理由も見受けられました。

東京消防庁では、１１９番通報で救急車の要請を受けると、対応可能な最も近くの救急車を出動させていますが、救急要請が増加すると近くの救急車が全て出動中となり、遠くから救急車が出動することで、到着までに時間がかかってしまいます。

救急車の到着が遅れると、救える命が救えなくなる可能性があります。真に緊急を要する方のために、救急車の適正利用を呼びかけています。

１　東京民間救急コールセンター利用促進の広報推進

東京消防庁では、「緊急ではないけれど交通手段がない！」このようなときは東京民間救急コールセンターを利用するよう働きかけています。東京民間救急コールセンターでは患者さんの都合に合わせて、寝台（ストレッチャー）や車椅子のまま搬送する民間救急車と、ご自分で歩行可能な方を搬送するサポートＣａｂ（救命講習を修了した運転手が乗務するタクシー）を案内しています（搬送費用は有料です。）。また、効果的な運用を図るため、地区医師会、救急医療機関等の関係機関及び都民に対して緊急性がない転院搬送、通院及び入退院には、民間救急、タクシー等を利用するよう理解と協力を求めていきます。

２　救急搬送トリアージの実施

救急現場において、明らかに緊急性がないと判断された場合は、傷病者自身による医療機関の受診を促す救急搬送トリアージを実施しています。